

基本データ

日時：2019/03/09 10:00-14:30

場所：大阪樟蔭女子大学

運営体制：

職員 2 名 | 学生委員 15 名

参加者数：100組200名

目的/概要

「みんなで『むかえる』新学期」をテーマとして学生と職員みんなで新入生や保護者の不安を取り除くために説明会を実施しました。

コンテンツ

- ・プレゼンテーション(60分)
「学生生活紹介と生協紹介」
「私の4年間と夢の実現について」
- ・キャンパスツアー(50分)
- ・生協食堂での昼食(50分)
- ・座談会交流会・相談ブース(85分)→自由解散

01 新入生にとって 1番身近な先輩との関わり

聞きたいことを聞ける環境

キャンパスツアーや昼食の時間、相談ブースでは同じ学科の新入生とその学科の先輩GIで班を組んでいます。そこでは大学生活はもちろんのこと、学科ならではのことを先輩から伝えたり新入生から質問していたりしていました。**新入生にとって身近な先輩だからこそ聞ける質問が多いので、その現状をしっかりと捉えられていました！**



相談ブースには教科書なども展示していて大学生活に対して期待を持ってもらえます！

02 自身の経験から 商品・サービス提案を

大学生活に必要などうかを判断しやすい

学生からのプレゼンやクロージングの紙芝居で大学生活の紹介があるが、その要所要所に生協の商品やサービスの紹介も一緒になされていました。これは他大学の生協でも実施されていますが、今回のプレゼンは紹介している！という感じが薄く、大学生活と共にすっきりと紹介がされていました。嫌味がないことから**本当に大学生活の中で必要なものを提案できている**良い提案でした。



クロージングも紙芝居は同じ。でも学科の情報を交えながら提案をしていました。

03 高校3年生の受験期から 大学生活までを振り返る

新入生にとって自分たち事にしやすい

「私の4年間と夢の実現について」というテーマで今春に卒業予定の学生がプレゼンテーションをしていました。そのプレゼンは大学生活に加えて「**なぜこの大学を志望したのか**」「**大学生になったら何をしようと思っていたか**」なども話していたので今の新入生の視点から大学生活を見れていたことがとても良かったです。



高校生の頃から話すことは新入生にとって身近になるので素晴らしいと思いました◎

訪問者からひとこと

大阪樟蔭女子大学生協は学生が主体となって楽しそうに活動していたので新入生の大学生活への期待につながることに間違いなしです！

